

特に寄附を募集している事業

- ◎ 甲府市は、武田信玄公の父信虎公が躰躰が埜に館を築いた1519年から甲斐の府中「甲府」が誕生し、2019年には開府500年（2019年）を迎え、本年は、武田信玄公生誕500年（2021年）という歴史的節目を迎えている。
- ◎ 甲府城は、豊臣秀吉配下の浅野長政・幸長父子などにより、今からおよそ400年前に築城され、徳川綱吉の側近、柳沢吉保により、甲府城を中心として小江戸と呼ばれるに相応しい賑わいと文化の成熟性を有したまちが整備された。

## 現状と課題

甲府市は、太平洋戦争末期に空襲を受け、歴史的な趣のある建築物などの多くが消失したが、その後先人の努力により、活気に溢れ魅力ある政治・経済・文化の中心地として復興した。しかし現在、日本の各地方都市と同様に、モータリゼーションの進展等とともに、住民の生活行動や企業活動の広域化により、郊外へ人口や商圏が移動し、本市の顔である中心市街地の空洞化が進んでいる。こうしたことから、本市も中心市街地活性化に係る様々な施策を展開しているが、今後、**多くの人々が集う持続可能なまち**としていくためには、**地域の魅力や文化を創造・発信**していくとともに、**何百年にわたり本県の中心であり続けた甲府城周辺を含む中心市街地の再活性化**は大きな課題となっている。

## 事業の目的

市民が甲府市の歴史や伝統・文化を再認識する中で、郷土愛の醸成を図るとともに、次の500年に向け地域の特性を活かした活性化を図るために、「お城がちなまち 甲府城周辺地域」をコンセプトとして、**お城がまちのシンボルとなり、お城を中心にまちと人、人と人がつながり、様々な交流を通じて賑わいを取り戻し、新たな文化を創造するまちを目指す。**

## これまでの取組

甲府駅南口周辺地域修景計画を県と連携して推進するとともに、新都市拠点整備事業、中心市街地商業等活性化事業、おしろランド（子ども屋内運動遊び場）整備事業、まちなか回遊道路整備事業などを展開してきた。

## 事業内容

### 甲府城周辺地域活性化計画整備事業

**甲府城の歴史・文化と緑が感じられ、ゆっくり過ごせ、また来たいと思える空間づくり**

本事業は、甲府城を中心として城下に栄えた小江戸甲府の賑わいを感じられる整備に向けた確実かつ効果的な事業推進を図るものである。



### 甲府城周辺地域の歩行者回遊ネットワーク形成方針図



## 得られる成果・目標

- ①お城周辺で多様な魅力を創出することでエリア価値が向上し、**中心市街地を活性化**
- ②甲府のシンボルが輝きを取り戻して再生することで、**シビックプライド向上に寄与**
- ③お城周辺の観光資源をつなぐ回遊ネットワークを充実することで**交流人口を拡大**

## 寄附するメリット等

### 企業に求めるもの等

- ① 住み続けられるまちづくりの実現に向けた取組として、社会問題の解決に連携する**新たなパートナーシップの構築**
- ② 地域の活性化に向けた**新事業開発への提案や協力**

### 企業のメリット

本市のまちづくりに連携していただくことによる、社会貢献の実現や企業のイメージアップにつながるとともに、**連携して創り上げたまちが甲府城とともに後世に引き継がれる。**

## 企業との連携イメージ

本事業を通じて、SDGs関連事業において企業版ふるさと納税を活用し、**企業と本市がWIN-Winの関係を構築**するために必要な取組を推進していく。





# 富士吉田市 富士山を食害から守れ! 有害鳥獣をマイナスからプラスの存在に変える

事業年度：令和3年～令和6年度



## 有害鳥獣を地域資源に変える、ジビエ新プロジェクト

富士吉田市は、富士山の北麓に位置し、総面積（122km<sup>2</sup>）のうち、約9割近くは山林、原野、雑種地等となっており、豊かな森林と恵まれた自然で形成されています。また、同時にニホンジカなどの野生鳥獣が数多く生息しており、有害鳥獣による被害が数多く報告されています。

この世界文化遺産である富士山の優美な自然を有害鳥獣から守るとともに有用な資源としてジビエの加工施設の設立を目指しています。

### 【ジビエ加工施設概要】

捕獲頭数が多い富士山麓エリアで、下記4つの機能を併設した加工施設の建設を予定しています。

- ①解体・加工施設
- ②調理・販売施設
- ③管理・共用スペース
- ④来訪者憩いの飲食交流スペース

<わがまち・むら自慢>

富士吉田市は、富士山を中心とした豊かな自然を背景に、本市独自の歴史・伝統・文化を培い、富士北麓地域の政治・経済・文化の中心都市として発展して参りました。

山梨県の南東部、日本一の標高3,776mと美しさを誇る富士山の北麓に位置し、海拔750mの市街地を形成する高原都市です。

明治以降、織物が近代産業として脚光を浴びて以来、政治・経済・文化の面で富士北麓の中核都市としての役割を果たしてきました。

富士山に抱かれた自然環境は、市民にとって大きな誇りであるとともに、限りない恩恵を与えています。現在も、自然との調和を保ちながら、富士山とともに歩む国際都市として発展しています。



新倉山浅間公園から望む富士山



織物産業「ハタオリ」を伝えるハタフェス

<富士吉田市ふるさと納税推進室>

TEL:0555-22-1111

Mail:furusato@city.fujiyoshida.lg.jp



# ☆生涯活躍のまち・つる事業☆



学生とアクティブシニアの交流



学生発都留市全域を利用したイベント

## 【アクティブシニア】 × 【学生】 × 【地域住民】

まちの中心部の一角に、アクティブシニアの移住者をターゲットにしたサービス付き高齢者向け住宅・都留文科大学連携施設・子育て世代をはじめとする地域住民との交流施設を整備し、全世代が能動的に活躍できる拠点を整備しております。

ハード整備のみでなく、ソフト事業を展開しプロジェクトのさらなる発展に向け、寄附や人材派遣などを通じて協働していただける企業様を求めています！

3万人というコンパクトな自治体の中に、人口の11%を占める学生とアクティブシニアが暮らすことで活発な地域のプレイヤーとの新たな活動が始まりつつあります。皆さまの知見を活かし、一緒に新たな事業展開をしていただけませんか！

### 〈わがまち・むら自慢〉

都留市は、東京圏からほど近い距離にありながら清冽な水や自然環境に大変恵まれており、市内に3つの高等教育機関があることも特徴です。地域全体の総合力を向上させることを目標として、「生涯活躍のまち・つる」事業に取り組み、全世代活躍型のごちゃまぜコミュニティを作り上げる取り組みをしています。2019年にはサービス付き高齢者向け住宅「ゆいま〜る都留」がオープンしました。また、これまでの様々な地域活動を連携・発展させた「安全・安心なまちセーフコミュニティつる」の取組が認められ、セーフコミュニティ認証自治体となりました。



都留市全景



水のまちつる

〈都留市企画課政策推進担当〉

TEL:0554-43-1111

Mail:seisaku@city.tsuru.lg.jp

# これからの山梨市を担う子供たちを育て支えるプロジェクト

事業年度：令和2年～令和6年度



公立保育園英語幼児教育の風景

## 「公立保育園英語幼児教育事業」

幼児期に「英語を楽しみながら親しむ機会」を設けることで、英語力の基礎を培い、国際的な感覚や豊かな感性を育みます。

数字や色など身近なものを歌やダンスで楽しみながら表現をしたり、アルファベットをイメージと一緒に学べるよう塗り絵をしたりと、これからの山梨市を担う子供たちが遊びの中から自然と英語を覚えられるよう工夫して行われます。

山梨市の小学校では、全学年で英語教育をおこなっており、入学後にスムーズな流れで授業できることを目的としています。

〈わがまち・むら自慢〉

ぶどう・桃・さくらんぼなど数々の果物の生産は全国有数で、雄大な果樹地帯が織りなす農業景観は日本農業遺産にも認定されています。

また、首都圏に最も近い国立公園「秩父多摩甲斐国立公園」をはじめ、国内屈指の渓谷美「西沢渓谷」、日本の滝百選「七ツ釜五段の滝」、日本百名山「甲武信ヶ岳」、新日本三大夜景「笛吹川フルーツ公園」など自然豊かな四季折々の景観を楽しめ、山梨最古1300年の源泉「岩下温泉旅館」、昼は富士山夜は新日本三大夜景の眺望「やまなしフルーツ温泉ぷくぷく」など多くの温泉があり、「安らぎ」と「癒し」のある街です。



春の「笛吹川フルーツ公園」



「七ツ釜五段の滝」の新緑と紅葉

〈山梨市商工労政課〉

TEL:0553-22-1111

Mail:shokorosei@city.yamanashi.lg.jp

# 大月市滞在価値創出事業

事業年度：令和2年～令和4年度



## 桃太郎と一緒にまちおこし！

大月市は、山梨県東部の玄関口として、古くから交通の要衝になっており、多くの方々が、本市を通過しています。駅前に大型ホテルがオープンしたことを契機に、本市の魅力情報を発信することで本市での滞在時間を増やし、地域内消費の拡大に繋げ、地域活性化を図っていきます。

桃太郎の「ももくら山」、家来のサル（猿橋）、キジ（鳥沢）、イヌ（犬目（上野原市））や鬼の住処とされる「岩殿山」が本市にはあり、この古くから伝わる大月桃太郎伝説をもとにシティプロモーションを展開していきます。

- ・ローカルブランドとして「大月桃太郎伝説」をアピールします。
- ・「大月桃太郎伝説」をはじめとした地域資源を活用し、商品開発を進めます。
- ・豊かな自然を体験してもらうトレッキングツアーや市内飲食店と連携したイベントを開催します。

### <わがまち・むら自慢>

大月市は、山梨県の東部に位置し、首都東京は東に約75Km、県都甲府市は西に35Kmの距離にあり、JR中央本線や中央自動車道、国道20号をはじめ、世界文化遺産に登録された富士山へ通じる国道139号、富士急行線など古くから交通の要衝となっています。

また、豊かな緑や清流など美しい自然環境に恵まれており、特に、富士山の眺望が素晴らしい数多くの山々があることから「富士の眺めが日本一美しい街」と銘打ち、秀麗富嶽十二景を制定し、この山々からの景色を市のシンボルとしています。



猿橋の渓谷



岩殿山とふれあいの館

<大月市企画財政課>

TEL:0554-23-5011

Mail:kkzaisei-19206@city.otsuki.lg.jp

## 「大村家生家」の周辺整備

本市出身でノーベル生理学・医学賞受賞の大村智博士の生家（国登録有形文化財）を中心に、博士の功績や近代農家住宅を後世に伝えていきます。



（大村家生家）

## 「スポーツ拠点施設」の整備

市民のスポーツや健康づくりの拠点となる体育館（アリーナ）やグラウンド、周回ランニングコースなどの施設を整備します。



（イメージ図）

## 「歴史文化博物館」の建設構想策定

武田家集大成の城である「新府城」跡から発掘された貴重な資料などを展示し、未来へつなぐ文化情報発信の核となる博物館の建設構想を策定します。



（上空より国史跡、新府城跡）

### 〈わがまち・むら自慢〉

韮崎市は南アルプス、八ヶ岳、霊峰富士などの名峰に囲まれ、春には田園で孤高に咲く“わに塚のサクラ”や七里岩台上を一面ピンクに染める新府桃源郷の桃、甘利山に咲くレンゲツツジなどの花とともに、大自然のパノラマを楽しめます。また、戦国の世に名を馳せた武田家発祥の地であり、武田八幡宮や新府城跡などの史跡が点在しています。スポーツ面では、サッカーを中心に地域スポーツが盛んに行われ「武田の里・サッカーのまち」として親しまれています。さらに、ノーベル生理学・医学賞受賞者大村智博士を育んだ美しい風景、素晴らしい環境などを楽しむことができます。



（七里岩と八ヶ岳）



（田園風景と富士）

## 韮崎市まち・ひと・しごと創生推進事業

仕事するなら韮崎市

移住・定住するなら韮崎市

子育てするなら韮崎市

安心と健やかなら韮崎市

〈総合政策課人口対策担当〉

TEL:0551-22-1111

Mail:seisaku@city.nirasaki.lg.jp



# 北の杜フードバレープロジェクト

事業年度：令和2年～令和6年度



有機野菜を中心とした商談会の様子



農福連携の促進に向けた勉強会の様子



生産技術向上を目指す米食味コンテスト

## 「稼げる農業」の実現に向けて

農業法人や新規就農者、集落営農組織、宿泊・飲食店など、「農」と「食」に携わる市内関係者による横断的な地域運営ネットワークとして、北杜市フードバレー協議会を設立し、官民一体となって事業者間の連携や他業種間連携を促すことにより、6次産業化による高付加価値化や生産性の向上、物流の効率化によるコストダウン、販路の更なる拡大、マーケットインの発想による農観連携、農福連携など、新しい取組を市全体で推進していきます。

これらの取組を通じて、本市の「農」と「食」の付加価値を高め、「稼げる農業」を実現することにより、若者の安定した雇用の確保のみならず、ひいては本市の「農」と「食」が北杜ブランドとして市内外の人を惹きつける魅力として確立することを目指します。

〈わがまち・むら自慢〉

北杜市は、北に八ヶ岳中信国定公園、西は南アルプス国立公園、東は秩父多摩国立公園があり、南には富士山を望む山岳景観日本一のまちです。周囲の山々からもたらされる水は清らかで、日本のミネラルウォーターの約4割がこの地から生産されています。この豊富な水と共に、標高差に富んだ地形や多様な土壌性質のおかげで、多種多様な農作物が生産され、近年は環境保全への意識の高まりを受け、有機栽培への取組も盛んに行われています。中でもお米の生産は地域の誇りであり、田園風景を守り続けていくことで、人と自然が共存する持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。



初夏の田園風景と八ヶ岳



夏、一面のひまわり畑

〈北杜市産業観光部商工・食農課〉

TEL:0551-42-1354

Mail:syokunou@city.hokuto.yamanashi.jp



# 道志村に新しい人の流れを ～村営住宅建設プロジェクト～

事業年度：令和4年度～令和4年度



## 若い世代が住みやすい71.2㎡の新築住宅の建設

県の主要な観光地のひとつでもある富士五湖エリアや首都圏からも1時間30分程度とアクセスもよく、豊かな自然に恵まれた村ですが、近年は人口減少が著しいことから、村の政策として「移住・定住」に力を入れているところです。しかし、移住希望者がいても住居の物件数が少なく、なかなか移住に繋がっていないのが現状です。

その問題を解消すべく、当プロジェクトでは移住希望者に提供するための村営住宅を設置します。子育て世代など、若い世代が田舎で快適に生活していただくため、71.2㎡の戸建住宅を建築します。

〈わがまち・むら自慢〉

道志村は、人口が約1570人の小さな村です。山梨県東南端の神奈川県境に位置しており、東西約28km、南北約4kmの細長い形状をしています。村の中央の谷を道志川が流れ、山々から流れる沢が道志川に流れ込む様子は「葉のような形」と比喻されています。無数の溪流や清流を流れる豊富な水は水質もよく、横浜市の水源として100年以上に渡って利用され、「赤道を越えても腐らない」と評される水です。豊かな自然がもたらす恩恵を受け、人々が生活をする、緑と歴史の清流の郷となっています。



道志村の空撮



自然に囲まれたキャンプ

道志村役場 ふるさと振興課

TEL:0554-52-2115

Mail:furusato@vill.doshi.lg.jp

# 森の資源循環を活用した 移住推進事業

事業年度：令和2年度～令和4年度



村内の木材を活用した住宅



開発したワイン樽

## 村内で放置された森林を有効活用へ

丹波山村は多くの森林に囲まれておりますが、木材価格の低迷等により森林が活用されず、放置されておりました。これらの地域に眠る森林資源を有効活用するため、仮設住宅を参考にデザインされた住宅の開発や、ワイン樽など新規で高付加価値の木材製品開発を行っております。林業など森林に携わる産業は、村内でも減少しており、これらの事業を行うことで、新規に雇用を創出する狙いもあります。

また、ただ活用するだけでなく次世代に豊かな森林をつなげるため、山林の調査や育成を行い、森林資源の循環モデルの構築を目指しております。

<わがまち・むら自慢>

丹波山村は、雲取山や大菩薩嶺など2,000m級の山々に囲まれた秩父多摩海国立公園内・甲武信ユネスコエコパーク内に位置する古くから自然と共生してきた村です。

また、村内産業としては、首都圏からのアクセスの良さを生かした、観光業が主であり、豊かな自然を生かした登山やアウトドアなどで多くの方々に親しまれております。



村の中心部を流れる丹波川



東京都の水がめ小河内ダム

<丹波山村総務課>

TEL:0428-88-0211

Mail:soumu@vill.tabayama.yamanashi.jp